

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験

博士課程前期課程

経営学研究科
企業経営専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1～	
	2月	P.4～	
外国人留学生入学試験	9月	P.1～	
	2月	P.4～	
学内進学入学試験(本学4回生対象)	9月		
	2月		
学内進学入学試験(本学他研究科2回生対象)	2月		
APU特別受入入学試験	9月		
	2月		
飛び級入学試験	9月		
	2月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2023年度実施 入学試験

博士課程後期課程

経営学研究科
企業経営専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院 経営学研究科企業経営専攻
博士課程前期課程 入学試験

＜一般入学試験（4 月入学）／博士前期＞
＜外国人留学生入学試験（4 月入学）／博士前期＞

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
10 : 10～11 : 40 (90 分)	第 I 区分～第 III 区分のうち <u>2 つの区分を選び、その選んだ区分の中から問題を 1 つずつ、合計 2 問を選択して解答すること</u>	なし

■受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙 1 枚ごとに受験番号・氏名を記入してください。
2. 1 問につき 1 枚の答案用紙に解答してください。
3. 途中での退室はできません。
4. 携帯電話・スマートフォン・PHS等を含む通信機器は時計として使用できません。アラーム機能を解除した上で、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
5. 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆、シャープペンシル、ボールペン、万年筆、消しゴム、鉛筆削り、時計以外のものを置かないでください。それ以外のものはカバンなどに入れ机の下に置いてください（ペンケース、消しゴムカバーを含む）。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。
6. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。
7. 試験中に途中で体調が悪くなった場合は、遠慮なく監督に申し出てください。

以下の第Ⅰ区分（戦略・マーケティング分野）、第Ⅱ区分（組織・技術経営分野）、第Ⅲ区分（会計学・ファイナンス分野）のうち、2つの区分を選び、その選んだ区分の中から問題を1問ずつ選択して日本語で解答しなさい。

答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した区分・問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

第Ⅰ区分

問題1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① コスト優位型海外進出
- ② すき間（ニッチ）戦略
- ③ ダイナミックシナジー（動的な相乗効果）
- ④ プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）
- ⑤ 脱成熟化

（2） 差別化戦略に成功している企業、または製品やサービスのブランドを一つとりあげ、それが競争相手に対してどのような差別化を行うことで成功しているのかを説明しなさい。

問題2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 顧客の知覚価値（CPV）
- ② 顧客リレーションシップ・マネジメント（CRM）
- ③ マーケット・リーダー
- ④ 垂直的マーケティング・システム（VMS）
- ⑤ サービス・リカバリー

（2） 自然が豊かで景観に優れ、新鮮な素材を用いた地元の料理がおいしいことで知られている日本のある町では、その町を訪問する観光客の人数をもっと増やしたいと考えている。この場合、どのようにして市場細分化を行うべきかを説明しなさい。

第Ⅱ区分

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 職能別職長制度
- ② 差別的出来高賃金
- ③ 官僚制組織
- ④ 人間関係論
- ⑤ 制約された合理性

（2） 事業部制組織について職能制組織と対比しながら論じなさい。ただし、以下の用語をすべて使用すること。
集権的組織 プロフィットセンター 将来の企業トップの育成

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） リーダーシップ理論に関連した次の5つの用語から2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 特性論
- ② オハイオ研究
- ③ PM理論
- ④ パス・ゴール理論
- ⑤ 変革型リーダーシップ

(2) リーダーシップ理論の発展について論じなさい。ただし、上の①から⑤の用語をすべて使用すること。

第Ⅲ区分

問題 5 以下の (1) と (2) のすべてに答えなさい。

(1) 次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① 予算管理
- ② マテリアル・フォローコスト会計
- ③ 管理可能性原則
- ④ 振替価格
- ⑤ 製造原価と期間原価

(2) 変動費型産業と固定費型産業の違いを損益分岐図で示しながら、原価構造による利益モデルの違いを説明しなさい。

問題 6 以下の (1) と (2) のすべてに答えなさい。

(1) 次の 5 つから 2 つを選び、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。

- ① モラルハザード
- ② 住宅ローン担保証券
- ③ ベンチャーキャピタル
- ④ 短期金融市場
- ⑤ イールドカーブ

(2) 現代ポートフォリオ理論について説明しなさい。その際、以下の用語をすべて用いて説明しなさい。
相関係数、効率的フロンティア、接点ポートフォリオ、分離定理

立命館大学大学院 経営学研究科企業経営専攻
博士課程前期課程 入学試験

<一般入学試験（4 月入学）／博士前期>
<外国人留学生入学試験（4 月入学）／博士前期>

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
10:10~11:40 (90分)	第 I 区分~第 III 区分のうち 2 つの区分を選び、その選んだ区分の中から問題を 1 つずつ、合計 2 問を選択して解答すること	なし

■受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙 1 枚ごとに受験番号・氏名を記入してください。
2. 1 問につき 1 枚の答案用紙に解答してください。
3. 途中での退室はできません。
4. 携帯電話・スマートフォン・PHS等を含む通信機器は時計として使用できません。アラーム機能を解除した上で、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
5. 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆、シャープペンシル、ボールペン、万年筆、消しゴム、鉛筆削り、時計以外のものを置かないでください。それ以外のものはカバンなどに入れ机の下に置いてください（ペンケース、消しゴムカバーを含む）。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。
6. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。
7. 試験中に途中で体調が悪くなった場合は、遠慮なく監督に申し出てください。

以下の第Ⅰ区分（戦略・マーケティング分野）、第Ⅱ区分（組織・技術経営分野）、第Ⅲ区分（会計学・ファイナンス分野）のうち、2つの区分を選び、その選んだ区分の中から問題を1問ずつ選択して日本語で解答しなさい。

答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した区分・問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

第Ⅰ区分

問題1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 差別型価格設定
- ② 準拠集団
- ③ コミュニケーション・チャンネル
- ④ サプライチェーンマネジメント
- ⑤ フランチャイズ組織

（2） 製造企業A社は、小売実店舗を通じて、消費財を販売している企業である。A社は、現在、インターネットを通じて消費者に直接販売するか否かを悩んでいる。A社がインターネット販売を開始することのメリットやデメリットを挙げた上で、このA社に対して、インターネット販売を開始するべきか否かについて提言しなさい。

問題2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① コンティンジェンシー理論
- ② ポジショニング・スクール（ポジショニング学派）
- ③ パワー・ディスタンス
- ④ SECIモデル
- ⑤ ストラテジック・アライアンス（戦略的提携）

（2） 競合他社に勝つためには、多国籍企業は、どのような特徴の経営資源や組織能力を持つべきかについて述べなさい。

第Ⅱ区分

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 戦略的事業単位
- ② ミシガン研究
- ③ 経済人仮説
- ④ 全人仮説
- ⑤ 二要因理論

（2） パーンズとスターカーの研究に基づき、有機的組織と機械的組織を対比して、各々の有効性について、以下の用語をすべて用いて説明しなさい。

パワー、ネットワーク型、外的環境

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 生産の平準化
- ② 定置組立方式
- ③ 生産性のジレンマ
- ④ 動作研究
- ⑤ 内部請負制

- (2) フォードの経営指導原理とフォード・システムの抱えた課題について、以下の用語をすべて用いて説明しなさい。
奉仕機関、永続性、労働疎外

第Ⅲ区分

問題5 以下の(1)と(2)のすべてに答えなさい。

- (1) 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 純粋持ち株会社
- ② 発生主義会計
- ③ ゴーイング・コンサーン
- ④ 繰延資産
- ⑤ 国際会計基準 (IFRS)

- (2) 企業活動や取引の性質の違いに言及しながら、損益計算書における各区分に計算される利益を説明しなさい。

問題6 以下の(1)と(2)のすべてに答えなさい。

- (1) 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 変動相場制
- ② ヘッジファンド
- ③ 確実性等価
- ④ 特別目的事業体 (SPV)
- ⑤ シャープ・レシオ

- (2) 金融危機の原因と対策について、以下の用語を全て用いて説明しなさい。

金融機関の破綻、モラルハザード、システムリスク、金融規制、金融機関の救済措置